

日本体育・スポーツ経営学会第42回大会 開催要項

テーマ:「スポーツの成長産業化と体育・スポーツ経営学の果たす役割ー体育・スポーツ経営学の不易流行を問うー」



1. 会 期 2019(平成31)年3月18日(月)～19日(火)

2. 会 場 国立大学法人静岡大学 静岡キャンパス 共通教育 A 棟 301・302 ほか
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836 <http://www.shizuoka.ac.jp/>

3. 大会日程

3月17日(日)

14:00～16:00 プレイベント ～研究者のための「研究倫理セミナー」および情報交換会～
※是非、ご出席頂ければ幸いです。プレイベントは参加費等徴収いたしません。

3月18日(月)

8:30～ 受付

9:30～ 開会行事

9:45～12:00 学生・一般研究発表

12:00～13:30 昼食

13:30～14:50 基調講演:「豊かな生活とスポーツの成長産業化を読み解く」

講演者:菊 幸一 氏(筑波大学)

15:00～17:15 シンポジウム「スポーツの成長産業化と体育・スポーツ経営学の果たす役割」

ロシンポジスト :「我が国が見据える、スポーツの成長産業化」

川合 現 氏(スポーツ庁民間スポーツ担当参事官)

「スポーツの成長産業化に向けた現状と課題」

仲澤 眞 氏(筑波大学)

「スポーツ価値の普及と体育・スポーツ経営現象の多様化」

中西 純司 氏(立命館大学)

司 会 : 中路 恭平 氏(南山大学)

村田 真一 氏(静岡大学)

17:30～18:20 総 会

18:30～20:30 懇親会(学会大会優秀発表賞表彰/学会賞・奨励賞の授与)

3月19日(火)

9:00～12:00 一般研究発表

12:00～13:30 昼食

13:30～16:00 一般研究発表

16:15～ 閉会行事

※ 発表申込件数などにより日程・時間変更の可能性がございます。予めご了承願います。

4. 大会テーマと主たる内容

①大会テーマ:「スポーツの成長産業化と体育・スポーツ経営学の果たす役割ー体育・スポーツ経営学の不易流行を問うー」

ースポーツの成長産業化ー。周知の通りこのテーマは、「第2期スポーツ基本計画」において標榜されており、今日、我が国のスポーツ推進を語る上で、大きなウエイトを占めるに至っています。具体的な実践課題として、「スタジアム・アリーナ改革」「大学スポーツの振興(日本版 NCAA 創設を含む)」「スポーツツーリズム需要拡大」などを挙げることができ、今後は、ICT化によるスポーツ指導者や施設等の活用、IoT や AI 活用等による新たなスポーツビジネスの創出、及びスポーツコンテンツの海外展開等の推進策が見込まれています。このように近年では、現代社会におけるスポーツ需要の拡大・進展に伴う産業化への傾倒が顕著といえ、これに呼応するかのように、スポーツ経営(学)界においても、研究対象の拡張化をはじめ、関連学会の充実とスポーツ産業関連の調査・研究報告書の発行などが見受けられます。

本学会においても、1980年代後半頃からの民間商業スポーツ施設の台頭や、1993年の日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)の開幕などのスポーツビジネス化に対して、運動者主体のスポーツマーケティング研究や「みるスポーツ」に関するスポーツプロデュース研究を行ってきました。しかしながら本学会は、我が国固有の歴史をもつ「学校体育」や「地域スポーツ」といった、主に公共・非営利領域における運動者主体の(「人とスポーツの直接的な結びつき」を重要視した)体育・スポーツ経営の

理論開発とその実践を中心とする課題の一つに据えてきたことから、産業化の議論についてはクローズアップされることが少なかつたように思われます。ましてや、冒頭に示したような今日の産業化が、日本経済再生政策(「日本再興戦略2016」「未来投資戦略2017」「未来投資戦略2018」)の脈絡によって、いわば「経済論理優先」のスポーツ推進として図られようとする時に、我々は、体育・スポーツ経営学の学術的意義や基本的価値(不易)の視座から、そうした社会的流れ(流行)をどのように認識し、研究対象として位置づけていくことが望ましいのでしょうか。

そこで、本大会のメインテーマを「スポーツの成長産業化と体育・スポーツ経営学の果たす役割」とし、サブテーマとして、「体育・スポーツ経営学の不易流行を問う」としました。本大会が、「現実課題に資するために不断の変貌を遂げつつも、創り、創りかえられる価値の集積を自覚する」という不易流行の統合的な意味を反映し、スポーツの成長産業化という現実課題への要請(流行)に応えながらも、同時に、体育・スポーツ経営学の基本的使命(不易)への自覚化を啓発する機会となることを期待しています。

②基調講演：「豊かな生活とスポーツの成長産業化を読み解く」

スポーツの成長産業化は、文化としてのスポーツ推進にどのように位置づくのでしょうか。また、成長産業化への具体的な数値目標(KPI)も掲げられていますが、どうしても私たちの生活感覚とは“遠く”なりがちの産業化は、市民生活や市民社会に対してどのような関連を持ち得るのでしょうか。菊氏には、スポーツの成長産業化のリアリティと将来展望について、「人」と「スポーツ」との関連から歴史社会的に御解説頂き、本大会における問題提起(スタートアップ)をしていただきます。

③シンポジウム：「スポーツの成長産業化と体育・スポーツ経営学の果たす役割」

これまで体育・スポーツ経営学(または、本学会)は、スポーツの成長産業化に対して、どのような対応をしてきたのでしょうか。これについては、実践的な対応と同時に、学術的な立ち位置についても確認しておく必要があります。本シンポジウムでは、改めて、スポーツの成長産業化についての理論的・実践的な共通理解を図りながら、これからの体育・スポーツ経営学(研究)が果たすべき役割について議論したいと思います。

5. 大会参加申込および大会参加費・懇親会費一覧

同封の「大会参加申込書(別紙)」に必要事項を記入の上、電子メール、郵送のいずれかにて、**1月31日(木)までに**、大会事務局へ提出して下さい。また、大会参加費、懇親会費は、**2月15日(金)までに**下記にお振込み下さい。大会不参加で大会号の送付を希望される方も、同日までに**2,000円**をお振込み下さい。参加費等の詳細は下表のとおりとなります。

| 事 項 | | 事前申込参加費 (2月15日まで) | 当日参加費 (2月16日以降) |
|---------------|--------|----------------------|--------------------|
| 大会参加費 | 正会員 | 6,000円 | 7,000円 |
| | 学生会員 | 3,000円 | 4,000円 |
| | 臨時一般会員 | 6,500円 | 7,500円 |
| | 臨時学生会員 | 3,500円 | 4,500円 |
| 大会号のみ購入:送付希望者 | | 2,000円 | |
| 懇親会費 | 一般 | 5,000円 | |
| | 学生 | 3,000円 | |

銀行名:静岡銀行池田支店(支店番号:131)(口座番号:普通口座0643872)

口座名称:日本体育・スポーツ経営学会第42回大会 代表 村田 真一

ニホンタイク、スポーツケイエイガッカイダイオンジュウニカイトイカイ ダイヒョウ ムラタ シンイチ

6. 研究発表の申込

①学生研究発表

体育・スポーツ経営に関する研究で、完結している研究に限ります。なお、筆頭演者の学部生につきましては、必ず指導教員による指導を受けた者として(共同研究者として指導教員を含むようにして下さい)。

発表形式は、口頭発表「発表時間12分」です(発表後、座長よりコメントを頂く形式とし、質疑応答は行いません)。

②一般研究発表

- 体育・スポーツ経営に関する研究で、完結している研究に限ります。なお、筆頭演者としての発表につきましては、一人1演題に限ります。
- 発表形式は、口頭発表「発表時間15分、質疑応答5分の合計20分」です。

③申込方法など

- 発表資格：平成30年度会費・大会参加費納入済の正会員・学生会員、大会参加費を納入済みの臨時会員
- 申込方法：「大会参加申込書(別紙)」に必要事項を記入の上、電子メールか郵送にて 1月31日(木)までに 大会事務局へ提出して下さい。
- 大会号原稿：研究概要を「学会大会号原稿作成要領(別紙)」に従って作成し、2月15日(金)までに大会事務局に提出して下さい。上記期日までに「必着」をお願いします。
- 発表資料など：発表補足資料は、100部用意し、発表30分前までに発表会場受付に提出して下さい。
発表は、パワーポイント(Office 2016 for Win)が使用可能です。
- 学会大会優秀発表賞：「学会大会優秀発表賞(詳細別紙)」に応募する学生会員は、申込書にてエントリーのこと。

| 事項 | 締め切り期日 |
|------------|-----------------|
| 大会参加申込 | <u>1月31日(木)</u> |
| 学会発表申込 | |
| 大会号送付申込 | |
| 大会号原稿提出 | <u>2月15日(金)</u> |
| 大会参加費納入 | |
| 懇親会費納入 | |
| 大会号のみ購入費納入 | |

④大会までのスケジュール

7. その他

- ①会場までのアクセスは、本学ホームページの「交通アクセス」<http://www.shizuoka.ac.jp/access/index.html> をご参照下さい。キャンパス内は車で入構可能です。
- ②所属長宛の派遣依頼が必要な方で、公印が押印してあるものが必要な場合は、お申し付け下さい。

第42回学会大会事務局

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836 静岡大学大学院教育学領域 村田 真一
TEL : 054-238-4992 FAX : 054-237-0097 携帯 : 080-5679-0414
E-Mail : murata.shinichi@shizuoka.ac.jp

第42回大会実行委員会

実行委員長(事務局・企画) : 村田真一(静岡大学)
実行副委員長(総務) : 中路恭平(南山大学)
渉外 : 築瀬歩(朝日大学)
経理 : 山本達三(びわこ成蹊スポーツ大学)
受付 : 出口順子(東海学園大学)
会場 : 河合学(静岡大学)
救急 : 新保淳(静岡大学)
報道 : 高根信吾(常葉大学)